

普及情報

分類名〔飼料作物〕

飼料用トウモロコシ奨励品種「パイオニア125日」

畜産試験場

1 取り上げた理由

市販されている飼料用トウモロコシの中から，畜産試験場において検定を行った結果，成績優秀であった品種を奨励品種としたので普及情報とする。

2 普及情報

1) パイオニア125日 (31N27 パイオニア)

- ・当試験場におけるRM（出芽から黄熟期までの日数）は120日となった（メーカーRMは125日）。早晚生は中晩生である。
- ・初期生育は標準品種（パイオニア122日）よりやや劣る。
- ・標準品種と比較して稈長はやや短く，耐倒伏性優れる。（表1）
- ・耐病性は標準品種とほぼ同程度である。（表2）
- ・乾物収量高く，特に茎葉収量が高い（表3）

3 利活用の留意点

- 1) 密植栽培により、ごま葉枯病、すす紋病、紋枯病の発生増加、稈径が細くなることによる倒伏の増加につながるため、栽植密度は10a当りパイオニア125日は6,500本以下とする。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場 草地飼料部 電話 0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定 (1)飼料用トウモロコシ (昭和57年～)

2) 参考データ

表1 生育特性

品種名	発芽 良否 (1-9)(注1)	初期 生育 (1-9)(注1)	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	倒伏 割合 (%)	折損 割合 (%)
ハ°イオア125日	8.4	4.6	273	125	0.1	1.1
ハ°イオア122日(標準)	8.8	5.4	281	134	0.3	0.9

(注1)出芽の良否,初期生育は極良を9,中を5,極不良を1とする評点法。

H14-H17年(4カ年)の平均値。ただし,倒伏・折損割合はH15-17(3カ年)の平均値。

表2 病害程度

品種名	ごま葉枯病 (1-9)(注1)	すす紋病 (1-9)	黒穂病 (%)(注2)	根腐病 (%)	紋枯病 (%)
ハ°イオア125日	2.0	2.0	0.0	1.0	2.4
ハ°イオア122日(標準)	2.2	2.0	0.2	1.8	2.1

(注1)被害程度と被害面積に応じて無を1,甚を9とする。

(注2)罹病個体の全個体に対する割合。

H15-H17年(3カ年)の平均値。

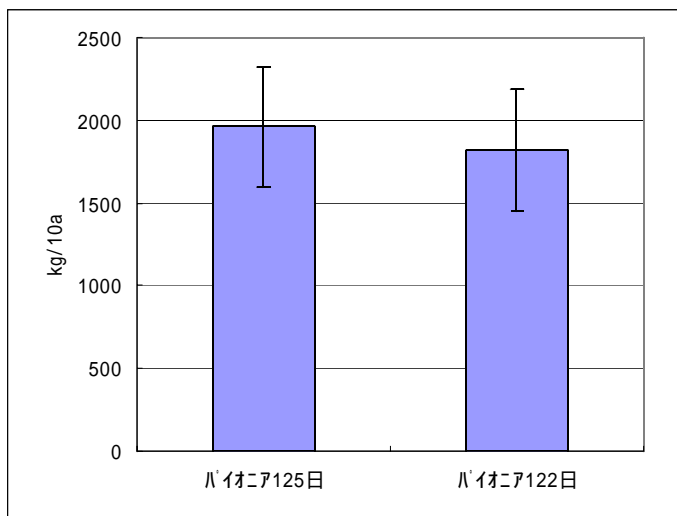


図1 品種別乾物収量の比較

表3 収量性

品種	乾物収量(kg/10a)			乾物雌穂 重割合(%)	TDN収量 (kg/10a)
	茎葉	雌穂	総重		
ハ°イオア125日	1,052(112)	909(103)	1,961(108)	46.5	1,315(107)
ハ°イオア122日(標準)	942	880	1,819	48.2	1,230

(注1)H14-H17年(4カ年)の平均値。

乾物収量及びTDN収量の欄の()内は,標準品種を100とした場合の比。

3) 発表論文等 なし